

NeXT朝日税理士法人ニュース

8月号 VOL. 038

NeXT 朝日税理士法人

〒491-0873

一宮市せんい2-9-16 ササキセルムビル2F

電話：0586-75-5415 FAX：0586-75-5405

<http://next-asahi.jp>



【ふるさと納税考】

ふるさと納税が人数、金額とも飛躍的に増えている。寄付をして得をするのはいかかなものかとの見解もあるが沢山税金を納めた人への「御褒美」だと言っていた人がある。即ち納税額の多い少ないにかかわらず選挙は1票、医療もおおむね平等である。ところが、ふるさと納税は沢山税金を納めた人の方がメリットが大きい。だから沢山税金を納めた人への御褒美と考えるのも一理はある。

【3000万円の特別控除が適用できます】

平成二十七年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」は、倒壊の危険や著しく衛生上有害となる空き家などを「特定空家等」と位置付け、市町村が撤去・修繕命令などを行うことで地域住民の生活環境を保全することなどを目的としています。そして「被相続人の居住用財産に係る譲渡所得の特別控除の特例」は、このような空き家の発生を抑制するために創設されました。これまでは別居していた親の住まいを相続し、空き家となった家やその敷地を譲渡した場合には、特別控除の適用が認められていませんでした。しかし「被相続人の居住用財産に係る譲渡所得の特別控除の特例」では、このようなケースでも要件を満たすと3000万円の特別控除の適用が認められるようになりました。その要件には「相続日から起算して3年を経過する日の属する年の十二月三十一日まで、かつ特例の適用期間である平成二十八年四月一日から平成三十一年十二月三十一日までに譲渡すること」「昭和五十六年五月三十一日以前に建築された家屋（区分所有建築物を除く）であること」「譲渡価額が1億円を超えないこと」「被相続人（相続財産を残して亡くなった人）が居住していた家屋を相続した相続人が、その家屋（譲渡の時に耐震基準を満たしていること）と敷地、または取り壊し後の敷地を譲渡した場合」などがあります。



袖振り合うも多生の縁！～ステキな顧問先をご紹介します！

【 こじ矯正・こども歯科クリニック 様 】

矯正歯科治療（成人・小児）と小児歯科治療を専門とされ、歯並びを治し、良い噛み合わせを得られる治療をされています。

矯正の初診相談や治療診察は予約制になっていますので、お電話でご確認下さい。

一宮市栄3-2-11 丸金ビル1F（医院裏に専用駐車場有） TEL 0586-25-8993

ホームページ <http://www.kojiortho-kidsdental.com/>



【今月の教えてキーワード：業況判断指数】

企業の景況感を表す指数のこと。日銀短観（日本銀行の企業短期経済観測調査）の項目の一つで四半期ごとに発表される。「景況が良い」と感じる企業の割合から、「景況が悪い」と感じる企業の割合を引いて算出する。数値は50が横ばい、これを上回ると「景況が良い」、下回ると「景況が悪い」と感じる企業が多いことを示す。製造業・非製造業、大企業・中小企業などに分けて算出するが、中でも大企業・製造業の指数の注目度が高い。

【週休3日の経営者】

ソフトウェア販売会社アシストの創設者であるビル・トッテン氏は週休3日だそうです。本社は東京ですが、土日月の3日間は京都で暮らして本格的に農業をされているとか。経営者だから自由にしているわけではありません。トッテン氏いわく「低成長が続く日本経済は縮小していくだろうから、雇用を維持しながら会社を存続させるには、賃金カットやワークシェアリングを進めたりして社員に負担を強いることになる。そうなったら休日を使った家庭菜園は食費の節約になるはずだ」と。つまりトッテン氏は会社と社員の将来を見据え、自分が1つのモデルケースになろうとしているのです。

同社は数年前から「週休3日」や「週1回在宅勤務」を導入したものの、なかなか社員に浸透しませんでした。そこでまずは自分が家庭菜園を始め、自給自足に近い生活にチャレンジして、それを見た社員がどう行動するかを待ったそうです。日本経済が今の6割になっても800人以上の社員をリストラしないと宣言しているこの会社は、経営者が自ら縮小時代への備えを率先して行動で示しているのでしょう。

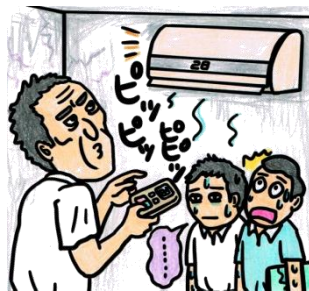
経営者の仕事とは何でしょうか。試しにインターネットで「社長の仕事とは」で検索してみると、「理念を語る」「戦略の立案」「人材育成」などさまざまな意見がありました。どれも確かに社長の仕事です。しかし、大事な仕事が抜けているように思います。

それは「経営者にしかできないこと」です。

トッテン氏の行動が社員に大きな影響を及ぼすのはトッテン氏が経営者だからであり、経営者の掲げる企業哲学に社員が共感を覚えるからです。

朝一番にトイレ掃除をする。現場に出向いて社員を激励する。情熱をもって仕事に取り組む。どれも経営者が自らやるからこそ社員の心に響きます。逆に「経費削減だ」と言って極端に冷房などを節約し過ぎると、

経営者がやるからこそ社員のモチベーションが下がります。「経営者にしかできない仕事」を今一度、自分に問うてみましょう。



お前の道を進め、
人には勝手なことを
言わせてあげ

今を生きる！ 先人の言葉

イタリア文学最大の詩人であるダンテの言葉。「世間や他人からどう見られているか」ではなく「どんな自分になりたいのか」という生き方をしてみたものだ。

《無料相続相談》実施中です

皆様のお近くにお困りの方、不安をお持ちの方がお見えでしたらお気軽にお声をかけて下さい。

TEL 0586-75-5415

